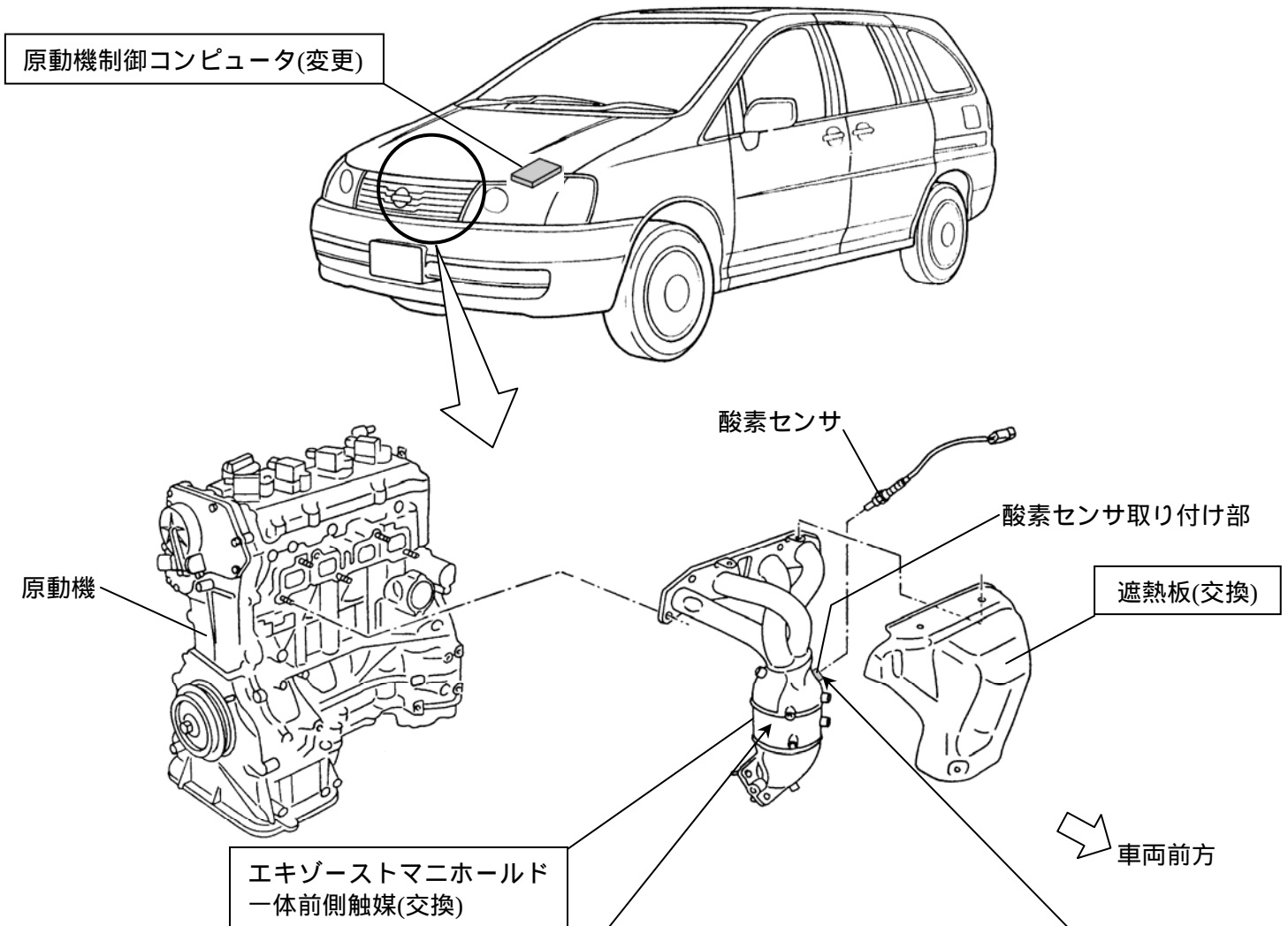


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

原動機制御コンピュータのプログラムが不適切なため、高速走行中の減速時に空気量が不足して失火した燃料が前側触媒部で燃焼する。または、エキゾーストマニホールド内部の排気流れに偏りがあるため、前側触媒内部が部分的に高温となる。そのため、当該触媒内部が高温の熱負荷を繰り返し受けて熱劣化し、損傷するおそれがある。

基準不適合発生箇所

エキゾーストマニホールドの遮熱板の形状が不適切なため、前側触媒の酸素センサ取り付け部が熱負荷を繰り返し受けて、当該取り付け部が腐食する。そのため、当該取り付け部がはがれて異音が発生し、そのまま使用を続けると、酸素センサが外れて、騒音が増大するおそれがある。

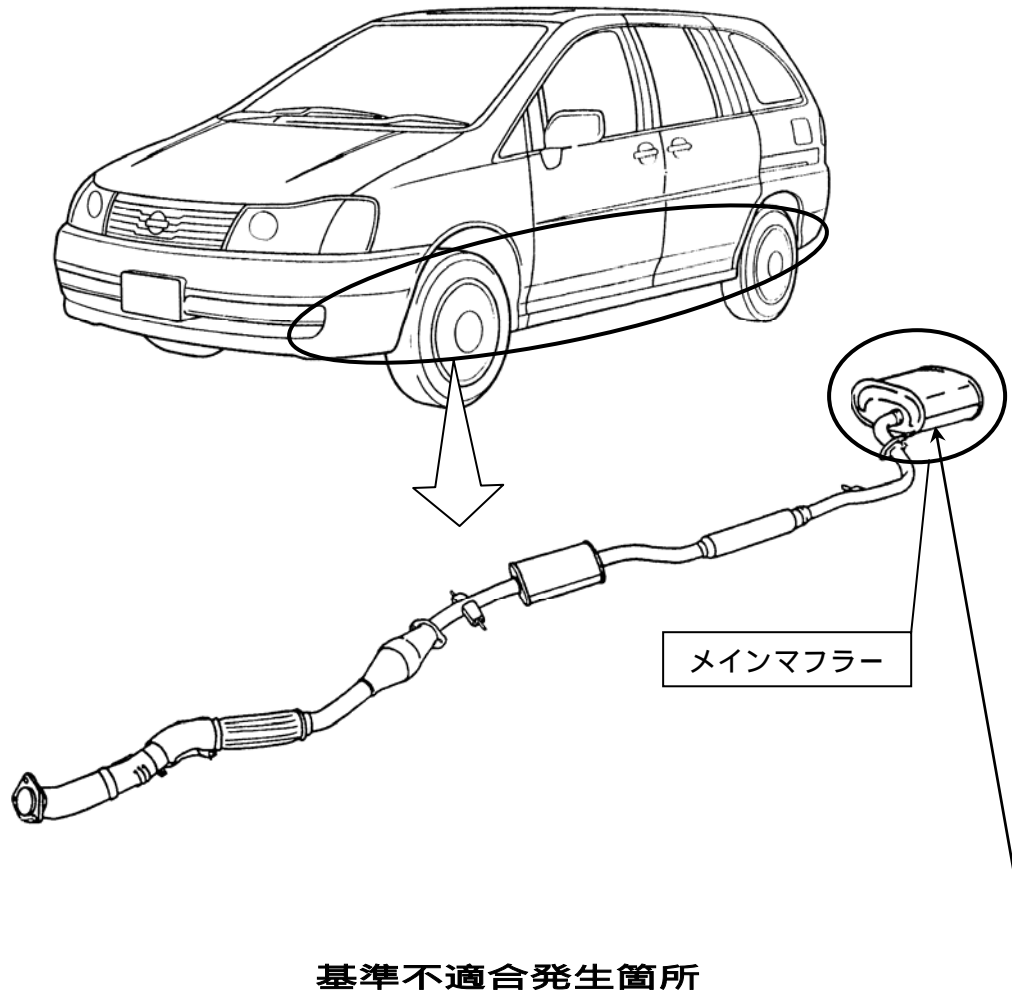
改善の内容

全車両、当該プログラムを変更すると共に、触媒の損傷状態を点検し、異常がある場合はエキゾーストマニホールド一体前側触媒を新品と交換する。なお触媒内部に整流板を設けている車両については、異常の有無に関わらず、全車両、エキゾーストマニホールド一体前側触媒を対策品と交換する。全車両、エキゾーストマニホールド遮熱板を対策品に交換すると共に、酸素センサ取り付け部の状態を点検し、当該取り付け部がはがれた場合は、エキゾーストマニホールド一体前側触媒を対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換、または変更する部品を示す。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

メインマフラーの材質が不適切なため、当該マフラー内部のインレットパイプが切損した場合に、インレットパイプ取り付け部に応力が集中して破損し、騒音が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該マフラーを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。